平成２１年度　学校法人純美禮学園

事業報告及び決算概要報告について

Ⅰ　法人の概要

Ⅱ　学園の法人会議及び監査について

Ⅲ　事業の概要・各部門の教育推進の概要

Ⅳ　決算概要説明

＜付　表＞

- 資金収支計算書（第１表）
- 資金収支内訳表（第２表）
- 消費収支計算書（第３表）
- 消費収支内訳表（第４表）
- 貸借対照表　　（第５表）
- 財産目録　　（第６表）

Ⅴ　監事監査報告書

【参　考】

・「学生・生徒・園児数」（平成２２年５月１日現在）

平成２１年度 学校法人純美禮学園 事業報告概要

Ⅰ　法人の概要

◆ ＜沿革＞

年	月	事　　項
大正７年	４月	松村裁縫速進教授所開設　大津市北国町（現　三井寺町）
８年	４月	大津裁縫速進教授所と改称
15年	４月	大津市蔵橋町（現　浜大津二丁目）へ教授所移転
昭和３年	４月	大津裁縫女学校開校　校長に中野冨美就任
６年	４月	大津高等裁縫女学校に改組　同校専攻科卒業者に対し 小学校裁縫専科正教員無試験検定資格が、県知事から付与される
12年	４月	大津市梅林町に新築移転
19年	４月	財団法人純美禮学園に改組　理事長に中野冨美就任 滋賀高等女子実業学校と校名変更
23年	４月	学制改革に伴い新制高等学校に改組　大津家庭高等学校に校名変更
26年	４月	財団法人純美禮学園を学校法人純美禮学園に組織変更 理事長に中野冨美就任
36年	４月	滋賀女子高等学校に校名変更
37年	12月	滋賀女子高等学校　大津市朝日が丘に校舎新築
38年	11月	第二期工事　講堂兼体育館竣工
41年	３月	理事長に松村信蔵就任
43年	８月	第三期工事竣工　梅林校舎を廃し朝日が丘に校舎統合
45年	４月	滋賀女子短期大学　開学　服飾学科、幼児教育学科の二学科設置 滋賀女子高等学校に普通科新設
47年	10月	滋賀女子高等学校　中野冨美顕彰記念館竣工
49年	５月	滋賀女子短期大学　体育館竣工
51年	４月	理事長に原山淑夫就任
55年	４月	滋賀女子短期大学附属幼稚園　開園
56年	８月	理事長に中野幹夫就任
57年	11月	滋賀女子高等学校　普通科棟竣工（現　３号館）
59年	３月	滋賀女子短期大学　音楽棟竣工（現　３号館）
62年	４月	滋賀女子短期大学　秘書科新設
63年	５月	学園創立70周年記念式典挙行
63年	10月	滋賀女子高等学校　第二体育館竣工
平成３年	３月	滋賀女子高等学校　普通科棟増築竣工（新館）
３年	４月	滋賀女子短期大学　服飾学科を生活学科に科名変更
６年	３月	滋賀女子短期大学　学舎増築（3号館）
９年	４月	滋賀女子高等学校　家政科を生活創造科に科名変更
11年	３月	滋賀女子高等学校　体育館建替竣工（第一体育館）
12年	４月	滋賀女子短期大学　秘書科をビジネスコミュニケーション学科に科名変更
15年	４月	滋賀女子短期大学　幼児教育学科を幼児教育保育学科に科名変更
16年	４月	理事長に松村文夫就任

17年	4月	滋賀女子短期大学　生活学科に製菓衛生師養成校の指定を受ける
20年	4月	共学化に伴い学校名変更 滋賀女子短期大学を滋賀短期大学へ 滋賀女子高等学校を滋賀短期大学附属高等学校へ 滋賀女子短期大学附属幼稚園を滋賀短期大学附属幼稚園へ
20年	5月	純美禮学園９０周年記念式典挙行
21年	3月	(財)短期大学基準協会における第三者評価の結果　適格と認定される
21年	3月	滋賀短期大学　生活学科に栄養士養成施設の指定を受ける
22年	1月	滋賀短期大学　生活学科に栄養教諭免許（2種）授与の課程認定を受ける
22年	4月	滋賀短期大学附属高等学校　生活創造科を人間総合科に科名変更

◆　設置する学校の概要（平成２１年５月１日現在）

学校名	学科	定員		現員	
		入学定員	総定員	入学数	総数
滋賀短期大学	生活学科	80　人	160　人	84　人	133　人
	幼児教育保育学科	170	340	167	342
	ﾋﾞｼﾞﾈｽｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	100	200	131	259
	計	350	700	382	734
滋賀短大附属高等学校	普通科	200	520	150	334
	生活創造科	80	320	42	122
	計	280	840	192	456
滋賀短期大学附属幼稚園	３歳・４歳・５歳児	60	170	77	199

・　役員・教職員の概要（平成２１年５月１日現在）

【役員】

理事　理事長　松村　文夫（常勤）
理　事　板倉　安正（常勤）　　理　事　山田　義和（常勤）
理　事　森島　洋一（常勤）
理　事　松村　澄江（非勤）　　理　事　髙井　八良（非勤）
理　事　松村　哲夫（非勤）　　理　事　溪　　逸哉（非勤）
理　事　榎　　和子（非勤）　　理　事　山本　正史（非勤）
監　事　山根　重雄（非勤）　　監　事　西村　　隆（非勤）

【評議員】

評議員　前川　秀治　　以下２１名

【教職員の概要（非常勤外数）】

教員　８１名（６９名）　　職員　４１名（１８名）

＜内訳＞

短期大学	教員　２９名（６３名）	職員　３０名（１３名）
高等学校	教員　３８名（6名 ALT１名含む）	職員　４名（　４名）
幼稚園	教員　１４名	職員　１名
法人本部		職員　６名（1名）

Ⅱ　法人会議及び監査の実施状況

◇ 法人の会議等

＜理事会・評議員会＞

年　度	月　　日	会議区分	議　　題　　等
平成２１年	5月 28 日	理　事　会	1. 平成 20 年度事業報告について 2. 平成 20 年度決算について 3. 平成 20 年度監査報告について 4. 評議員の選任について 5. 学校法人純美禮学園就業規則の一部改正について 6. 滋賀短期大学学則の一部改正について 7. 滋賀短期大学附属高等学校学則の一部改正について 8. 附属幼稚園保育料の改定について 9. 滋賀短期大学附属幼稚園園則の一部改正について
	5月 28 日	評議員会	1. 平成 20 年度事業報告について 2. 平成 20 年度決算について 3. 平成 20 年度監査報告について 4. 学校法人純美禮学園寄附行為の一部改正について 5. 評議員の選任について
	12 月 10 日	理　事　会	1. 学校法人純美禮学園寄附行為の一部改正について 2. 学校法人純美禮学園職員給与規程の一部改正について 3. 学校法人純美禮学園就業規則の一部改正について
平成２２年	2月 12 日	理　事　会	1. 平成 21 年度予算の補正について 2. 評議員の推薦について 3. 評議員の選任区分換えについて 4. 滋賀短期大学学則の一部改正について
	2月 12 日	評 議 員 会	1. 平成 21 年度予算の補正について
	3月 19 日	理　事　会	1. 平成 22 年度事業計画について 2. 平成 22 年度予算について 3. 附属高等学校校舎耐震補強工事に伴う借入金について 4. 学校法人純美禮学園職員給与規程の一部改正について 5. 滋賀短期大学附属高等学校長の辞任について 6. 滋賀短期大学附属高等学校長の任命について 7. 理事の選任について 8. 評議員の選任について
	3月 19 日	評 議 員 会	1. 平成 22 年度事業計画について 2. 平成 22 年度予算について 3. 附属高等学校校舎耐震補強工事に伴う借入金について 4. 評議員の選任区分の変更について 5. 理事の選任について 6. 評議員の選任について

＜常任理事会＞

年　度	月　　日	議　　題　　等
平成２１年	4月23日	1. 当面の諸課題について
	5月22日	1. 平成20年度決算概要について 2. 学校法人純美禮学園寄附行為の一部改正について 3. 学校法人純美禮学園就業規則の一部改正について 4. 滋賀短期大学学則の一部改正について 5. 滋賀短期大学附属高等学校学則の一部改正について 6. 滋賀短期大学附属幼稚園園則の一部改正について 7. 学校法人純美禮学園危機管理規則の制定について 8. 滋賀短期大学副学長に関する規程の制定について 9. その他 (1)附属幼稚園における主任教諭の位置付けについて (2)園則の保証人に関する規定について
	6月19日	1. 学校法人純美禮学園セクシュアル・ハラスメントの防止等に関する規則の一部改正について 2. 当面の諸課題について
	9月25日	1. 財政改善中期計画について 2. 学校法人純美禮学園嘱託職員の雇用等に関する規程の一部改正について 3. 滋賀短期大学附属幼稚園嘱託講師の雇用等に関する規程の一部改正について
	10月30日	1. 人事院給与勧告の骨子について 2. 今後の諸課題について
	11月20日	1. 学校法人純美禮学園職員給与規程の一部改正について 2. 学校法人純美禮学園就業規則の一部改正について
平成２２年	1月29日	1. 平成21年度補正予算の概要について 2. 平成22年度予算編成基本方針について
	2月26日	1. 平成22年度予算の概要について 2. 学校法人純美禮学園職員給与規程の一部改正について 3. 人事異動について

◇ 法人の監査等

平成２１年	４月３日	期首監査（公認会計士）
	5月 18 日 19 日	平成２０年度会計決算監査
	5月 19 日	学園監事による公認会計士からの意見聴取
	5月 25 日	学園監事監査
	7月 21 日	中間監査（公認会計士）
	9月 18 日	中間監査（公認会計士）
	9月 29 日	滋賀県総務課による現地調査
	11 月 17 日	中間監査（公認会計士）
	11 月 19 日	滋賀県監査委員による監査
平成２２年	2月 16 日	中間監査（公認会計士）

Ⅲ　各部門の教育推進の概況

＜ 短期大学 ＞

１．第２次中期目標・計画の見直しと改善

法人の総合改革に合わせて中期目標･計画を定めて具体的な改革･改善に取組んでいる。平成 21 年度は、前年度の取り組みの反省から、キャッチフレーズをより明確な「全国的に評価される短期大学を目指す」とし、中教審答申にいう大学の７つの機能分類の中の「幅広い職業人の養成」に主点を置き、建学の精神の基に「よい教育」の一層の充実に取り組んだ。その成果の見直しは以下の通りである。

① 各学科の特色を明確にし、就職に強い短期大学を目指す。
② 教育全般を充実させ、「よい教育」のさらなる発展を図る。
③ 附属高校をはじめ高等学校との連携強化
④ 科研費、ＧＰ、補助金等の増額獲得
⑤ 男子学生指導と施設整備
⑥ 「美しい日本語コンクール」の実施
⑦ 国際交流の充実
⑧ 地域連携、社会貢献
⑨ 18 歳人口減少の中での学生募集の強化

また、これらを踏まえて、平成 21 年度には次の事項に重点を置いた。

(1) 各科の取り組み

・生活学科：「生活学」を総合的に捉える観点から各コースにおける資格を見直し、これからの時代に適合する環境に配慮した快適な生活を実現するために、衣食住の分野で活躍できる有為な人材育成を図った。特に栄養士のコースでは栄養教諭の免許を修得できるように整備した。

・幼児教育保育学科：幼保一元化の動向を視野に、幼児教育・保育における男性保育者、女性保育者の役割を明確にして、男女の協調を基盤とした資質の高い保育者の養成と研修を図った。

・ビジネスコミュニケーション学科：コース内容の見直しを進め教育内容の質の向上を図り、社会で活躍できる有為な人材の育成を図った。

(2) 全学的な取り組み

(ア) 行動指針「よい教育」のさらなる充実

・行動指針とカリキュラム、教育内容、授業方法、学生指導への反映等の具体化

・高等教育開発センターの活動：循環型キャリア教育を追求するための検討をＦＤ－ＷＧで進めた中でキャリア支援、カリキュラムの体系化による導入教育から就職対策まで学生の基本的資質向上を図った。

(イ) 地域連携

・県内各大学との連携の強化

・地域連携：地域子育て支援の充実、学生ボランテイアのイベント参加

・高大連携：附属高校及び県内高校（滋賀県教育委員会）との連携強化

(ウ) 本学の基盤強化

・教育・研究・社会活動の成果の公表のあり方、紀要の質の向上（査読のあり方）

・教育基盤を強化するための学内共同研究の推進、学外機関との共同研究の推進と教員組織の整備

２．特任教員制度の活用

教育目標を実現する上で必要な人材を確保するため、特任教員制度を活用し、平成 22 年度に向けて、従来の特任教員に加えて特任助教の新規採用を進めた。

３．他大学との包括協定と地域連携等

滋賀大学、滋賀医科大学との協定に引き続き、環びわ湖大学・地域コンソーシアムによる地域連携を強化した。

４．国際交流の促進

平成 21 年度は、ＭＳＵと共同で実施する日米高校生交流環境学習を進める中で、(独)国際交流基金の交付金の決定を受け、大津高校との協定に基づきミシガンへの派遣を進める予定であったが、新型インフルエンザの影響により平成 22 年度に延期した。

５．美しい日本語コンクールの開催と図書館の充実

美しい日本語コンクールは、平成 19 年度から取組んできたが、平成 21 年度は新に美しい日本語チャレンジクラスを 12 回開催する等活動が活発になってきた。

また、図書館の充実を図る一環として要望の有った、モンテッソーリ教具を整備した。

６．カリキュラムの変更等

● 共通科目

名称変更科目	２科目	４単位
新設科目	２科目	２単位

● 生活学科

専門科目

新設科目	１科目	１単位
廃止科目	２科目	４単位

教職に関する専門科目

新設科目	５科目	８単位
廃止科目	１科目	２単位

● 幼児教育保育学科

専門科目

新設科目	１科目	２単位

選択自由科目

新設科目	３科目	４単位

● ビジネスコミュニケーション学科

専門科目

新設科目	１科目	１単位

７．施設・設備

●中庭インターロキング改修工事及び３号館中庭に砂場設置　　３,９４０千円

●教育用機器・図書の整備等　　１３,８１０千円

８．学生募集の状況（平成 22 年度入試）

志願者数　３８２人（４６９人）　　合格者数　３４８人（４０６人）

入学者数　３２３人《内男子３９人》（３８２人）

オープンキャンパス開催状況

開催日　７／１８，８／１，１１，３０，９／２６の５日間

参加者　延べ７５６人（８９５人）

９．就職状況（平成 22 年 5 月 1 日現在）

総求人件数・・・　６６８件（８５２件）

就　職　率・・・　９６．９％（９８．５％）

幼教就職者の幼、保、施設への就職率・・・８４．３％（８８．２％）

10．卒業生の免許・資格等の取得状況

[３２１人　生活４８人　幼教１５３人　ビジコミ１２０人]

● 生活学科

中学校教諭２種	４名	フードスペシャリスト	１２名
訪問介護員２級	８名	製菓衛生師受験資格	１７名

● 幼児教育保育学科

幼稚園教諭２種	１１７名	保育士	１１４名
児童厚生員２級	４９名		

● ビジネスコミュニケーション学科

上級秘書士	２２名	上級情報処理士	１９名
秘書士	７９名	情報処理士	６４名
医事管理士	５３名	医療管理秘書士	５４名
訪問介護員２級	３名	ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ･ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ	１３名

11．学生援護活動

学生相談　延べ相談人数　３１５人（３９７人）

12．公開講座

テーマ　「教養と文化」

期　間　１０／９～１０／２０[４日間・８講座]　受講申込者　９０人

滋賀医科大学との共催講座　　９／３　　受講者数　９人

13. ステップアップ講座

７講座　延べ開講日数４２日（８／１７～３／４）　受講者数　１１９人

14. こどもの講座

４講座　延べ開講日数７日（８／３～８／２９）　受講者数　４８人

15. 研究紀要第３４号の発刊

登載　論文数６編、研究ノート２篇　延べ投稿者数１０人　印刷部数４００冊

＜高等学校＞

１．学習（体験）活動

ア　福祉体験

１年生徒が、高齢者福祉施設および保育園・幼稚園にて福祉体験学習

２年生活創造科が幼稚園で体験学習

（滋賀短期大学附属幼稚園児との交流）

イ　伝統文化体験

生徒製作浴衣の着付け体験学習、能鑑賞

ウ　国際理解教育体験活動

ベトナム・タイの留学生と交流（３年生）

エ　フレッシュ講座

教師が得意とする分野で講座を開講し（３０講座）、生徒はその中から挑戦したい講座を選択して１年間学ぶ。スポーツから科学実験、ものづくり、畑仕事など、日常の教科学習では学べない幅広い分野で実施している。

オ　スポーツフェスティバル

「学級集団の団結力を高めること、人間関係づくり」を目的として、大縄・リレー等の競技をする。

カ　宿泊体験

４月上旬（年度当初）に、１年生が若狭湾青少年自然の家・２年生が曽爾青少年自然の家にて、実習・宿泊体験を２泊３日、３年生が三重県モクモクファームにて１泊２日の宿泊体験を実施して、学年に応じた集団生活への適応力を養うとともに、進路学習への意欲を高める。

キ　学習成果発表会

全校生徒参加で、フレッシュ講座やクラブ活動等における１年間の学習成果と生活創造科３年生による実習成果発表を、栗東芸術会館「さきら」で開催

主な発表内容

・各学年の学習発表

・２・３年による生活創造科製作等の発表

ク　講演（啓発）活動

１年生対象　人権研修（インフルエンザ中止）

２年生対象　マレーシア観光局

アブドール・ラーマン氏の講演「マレーシアの文化と風土」

３年生対象　大津職業安定所指導官による講演「卒業後の進路に向けて今考えること」

ケ　ウォークラリー

３月に、１・２年生全員が三井寺・近江神宮・大津歴史博物館を中心に大津市内の名所を歩いて巡り、地域の文化や自然に触れる体験をする。

コ　海外研修関係

１０月に２年生海外研修旅行（マレーシア・シンガポール３泊５日）

２．進路指導

ア　・２年生対象に進学・就職分野別懇談会を６会場で実施

　　・２年生対象に大学・短大説明会を９会場で実施

　　・１年生対象に「卒業生と語る会」及び「進路意識向上講座」を開催

イ　大学受験講座を関西文理学院の講師を迎え実施

　　生物Ⅰ・数学ⅠＡ・国語表現・古典　　夏期補習時　数学・英語

ウ　卒業生の進路決定状況

大学	短大	専門・各種	就職	その他	
３９名	４８名	１４名	４名	１５名	計１２０名

３．施設・設備の充実

ア　教育用機器・図書の整備等　　１,３９８万円

イ　理科教材更新　　１１１万円

ウ　地デジ対応機器の更新　　７５万円

４．生徒募集関係

◆中学校・塾訪問（滋賀県９２校　京都４２校　塾２５０校）年５回

ア　５月から１２月にかけて、中学生対象の体験入学を実施　（６回）

イ　５月から１２月にかけて、保護者対象の入試説明会を開催（６回）

ウ　塾対象の入試説明会の実施　（９月）

エ　滋賀県私学入学合同説明会に参加　（大津 8/23、草津 10/3、彦根 10/25）

オ　中学校主催入試説明会に参加　（１６回）

カ　塾主催進学説明会に参加　（５校）

キ　中学校教員対象説明会　（４回）

入　試　結　果　　（人）

区　分	専・併	普通科	人間総合科	合　　計
志願者数	専　願	１２３（ 53）	３４（ 4）	１５７（ 57）
	併　願	８７３（344）	１３７（11）	１,０１０（355）
	合　計	９９６（397）	１７１（15）	１,１６７（412）
合格者数	専　願	１１１（ 44）	３０（ 3）	１４１（ 47）
	併　願	８３６（318）	１４０（13）	９７６（331）
	合　計	９４７（363）	１７０（16）	１,１１７（376）
入学者数	専　願	１１１（ 44）	３０（ 3）	１４１（ 47）
	併　願	７１（ 22）	５（ 1）	７６（ 23）
	合　計	１８２（66）	３５（ 4）	２１７（ 70）

普通科Ⅱ類　志願者数　３７２人（内男子１２８人）

　　入学者数　　５５人（内男子　１３人）

５．体育クラブの活動（主な成績）

- 全国高校総合体育大会出場

  バドミントン、バスケットボール

- 全国高校選抜大会

  ・　バスケットボール、バトミントン

- 近畿大会

  ・バレーボール、バスケットボール（３位)、バドミントン、体操、

- 県内各種大会結果（主なもの）

  ・ソフトボール（女）

  春季高校総体ベスト４　県民体育大会ベスト４　秋季高校総体ベスト

  ・体操（女）

  春季高校総体個人出場　県民体育大会個人出場　秋季高校総体個人出場

  ・バスケットボール（女）

  春季高校総体優勝　　秋季高校総体優勝　近畿大会３位　全国高校総体出場

  ・バドミントン（女）

  春季高校総体優勝　　秋季高校総体優勝　近畿大会単３位　全国高校総体出場

  ・バレーボール（女）

  春季高校総体３位　　秋季高校総体３位

  ・硬式野球部

  選手権大会県予選（２回戦）　秋季大会（２回戦）　１年生大会（２回戦）

  ・ソフトテニス（男・女）
  ・陸上競技クラブ（男・女）
  ・剣道クラブ（男・女）
  ・卓球クラブ（男・女）

  } 春・秋高校総体出場

６．文化クラブの活動

  ・吹奏楽

  滋賀県高校総合文化祭・滋賀県吹奏楽祭参加

  吹奏楽県コンクール優秀賞　（県大会出場 奨励賞）

  ・軽音楽　スニーカーエイジ出場

＜ 幼稚園 ＞

１　園児募集の状況

入園希望者数　８９人（H21 91人　／H20　81人　／H19　１０１人）

入 園 児 数　６９人（３歳児　６０人　４歳児　７人　５歳児　２人）

２　教育指導状況

・ 新教育要領をふまえ、全学級ティーム保育（担任２人制）の実施

・ 預かり保育の実施

Ｈ２１年度実施　　延べ　2,617 人

（Ｈ２０年度実施　　延べ　2,595 人 ）

３　短大幼児教育保育学科の学生実習受け入れ等

・ 二回生の教育実習　　後期　　９月７日～１８日　　９人

・ 「幼児体育」選択の学生　火曜日１３人　　金曜日１２人が実習

・ 後期 ビジコミ学科ﾘｸﾚｰｼｮﾝﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄｺｰｽの１３人が、毎金曜日 預かり保育に実習参加

・ 中学生（打出中学２年生）との交流や短大附属高（１年生・２年生）との交流

・ 夏祭り、敬老の日など園行事に、地域や年齢層を広げて、参加を呼びかけ、園児とのふれあいや園庭開放に努めた。

４　施設設備の整備改善

・ 舞台照明工事	１０８万円
・ ホール照明増設工事	５４万円
・ 園児用外部手洗い改修工事	７４万円
・ 大人用トイレ改修工事	２２２万円
・ 職員用トイレ（男子用）改修工事	１２９万円
・ 裏面斜面改造工事	４６万円

５　教員の資質向上と研修

・ 園内研修会を毎月水曜日の午後に実施

・ 夏季休業中は、各種他機関主催の研修会へ積極的参加

平成２１年度　決 算 概 要 説 明

【資金収支決算】

平成２１年度の**資金収入**および**資金支出の合計**は、それぞれ 1,897,246 千円で、予算（補正予算）より、8,388 千円(0.4%)増加した。このうち予算との差が大きいものは収入の部では、学生生徒等納金収入、補助金収入、前受金収入、支出の部では、教育研究経費支出、管理経費支出、資産運用支出等で、予定した事業については、ほぼ予算に基づき実施できたと判断する。

予算との差異が大きかった科目の主因は次のとおりである。

資金収入の部において、学生生徒等納付金収入 17,651 千円の減は、学生・生徒数の予算編成積算数と実数との差異及び退学者等によるものである。補助金収入 16,821 千円の増は、短期大学における国庫補助金が 10,905 千円増と高等学校振興補助金が 5,916 千円増などによるものである。

資金支出の部において、教育研究経費支出 24,150 千円の減、管理経費 11,091 千円の減は、計画予算の縮小や経費節減によるものである。

よって、次年度繰越支払資金は、予算額より 52,704 千円増の 396,045 千円となった。

【消費収支決算】

平成２１年度の**帰属収入合計**は、1,564,064 千円となり、予算（補正予算）に計上した 1,559,583 千円とは 4,481 千円(0.3%)増額となった。消費支出合計の予算比は 20,451 千円減、基本金組入額の予算比は 13,999 千円減となり、その結果、消費収支超過額は予算より 38,931 千円の増加となり、平成９年度決算以来の消費収入超過（6,044 千円）となった。

基本金組入額の合計は 64,155 千円で、その内訳は、施設設備関係 19,932 千円、奨学基金への積増 5,000 千円、研修補助基金への積増 21 千、短大教育研究充実基金への積増 602 千円、借入金返済による組入 38,600 千円であり、前年度より 364 千円の組入増となった。帰属収入に対する組入額の比率は 4.1%で、前年度の同比率 4.5%を 0.4 ポイント下回った。

よって、**当年度収入超過額** 6,044 千円に**前年度繰越消費支出超過額** 2,044,953 千円を加えた結果、**累積支出超過額**は、2,038,909 千円となり、翌年度へ繰越すこととなった。

◆◆◆　主要財務比率の経年比較表　◆◆◆

比　　率	算式（×100）	平成17年度（決　算）	平成18年度（決　算）	平成19年度（決　算）	平成20年度（決　算）	平成21年度（決　算）
人件費比率	人件費 / 帰属収入	72.7%	77.2%	78.6%	74.2%	67.1%
人件費依存率	人件費 / 学生生徒等納付金	104.4%	114.3%	123.9%	111.7%	95.3%
教育研究経費比率	教育研究経費 / 帰属収入	26.9%	23.5%	28.0%	25.3%	22.3%
管理経費比率	管理経費 / 帰属収入	6.2%	5.7%	6.9%	6.3%	5.7%
消費支出比率	消費支出 / 帰属収入	106.9%	107.4%	114.1%	106.5%	95.5%

【貸借対照表】

資産の部合計は 4,679,296 千円で、前年度末より 36,935 千円（0.8%）増加した。

その主な要因は有形固定資産の減価償却による減少とその他の固定資産の退職給与引当特定資産の増加及び流動資産の現金預金の増加によるものである。

その内訳は、**固定資産**は、前年度末より 43,624 千円の減少と（有形固定資産 62,843 千円の減、その他の固定資産 19,219 円の増）**流動資産**では、前年度末より 80,559 千円増加との相殺による。

負債の部合計は 754,051 千円で、前年度末より 33,262 千円減少した。

その主な要因は長期借入金の計画的返済と退職給与引当金の増加によるものとの相殺による。

基本金は 64,155 千円組入をした結果、5,964,155 千円となり、基本金要組入額の 97.7%となった。

＜参考＞

比　　率	算式（×100）	平成17年度（決　算）	平成18年度（決　算）	平成19年度（決　算）	平成20年度（決　算）	平成21年度（決　算）
流　動　比　率	流　動　資　産 / 流　動　負　債	54.5%	58.7%	84.8%	98.9%	123.4%

第１表

資　金　収　支　計　算　書

平成２１年４月　１日から
平成２２年３月３１日まで

＜総括表＞　　（単位　千円

収　入　の　部			
科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
学生生徒等納付金収入	1,118,641	1,100,990	17,651
手数料収入	36,382	36,351	31
寄付金収入	3,723	5,027	△ 1,304
補助金収入	337,424	354,245	△ 16,821
国庫補助金収入	123,438	134,343	△ 10,905
地方公共団体補助金収入	213,986	219,902	△ 5,916
資産運用収入	20,361	23,976	△ 3,615
資産売却収入	2,393	2,393	0
事業収入	5,550	5,747	△ 197
雑収入	35,109	35,276	△ 167
前受金収入	288,100	307,815	△ 19,715
その他の収入	117,758	115,602	2,156
資金収入調整勘定	△ 349,749	△ 380,119	30,369
前年度繰越支払資金	289,943	289,943	0
収入の部合計	1,905,634	1,897,246	8,388

支　出　の　部			
科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
人件費支出	1,038,441	1,035,921	2,519
教育研究経費支出	277,467	253,302	24,165
管理経費支出	97,081	85,990	11,091
借入金等利息支出	6,814	6,814	0
借入金等返済支出	38,600	38,600	0
施設関係支出	4,397	4,397	0
設備関係支出	31,439	30,391	1,048
資産運用支出	34,424	19,219	15,205
その他の支出	37,791	37,790	1
〔予　備　費〕	（ 2,833 ） 1,467		1,467
資金支出調整勘定	△ 5,627	△ 11,222	5,595
次年度繰越支払資金	343,341	396,045	△ 52,703
支出の部合計	1,905,634	1,897,246	8,388

第２表

資　金　収　支　内　訳　表

平成２１年４月　１日から
平成２２年３月３１日まで

収　入　の　部

＜総括表＞　（単位　千円）

科目＼部門	滋賀短期大学	滋賀短期大学附属高等学校	滋賀短期大学附属幼稚園
学生生徒等納付金収入	796,924	265,742	38,324
手数料収入	12,604	23,480	267
寄付金収入	3,194	1,833	0
補助金収入	133,441	177,294	43,510
国庫補助金収入	133,318	1,025	0
地方公共団体補助金収入	123	176,269	43,510
施設設備利用料収入	9,750	5,794	563
有価証券売却収入	1,484	766	144
補助活動収入	809	0	4,938
その他の雑収入	9,902	24,722	652
計	968,108	499,631	88,398

支　出　の　部

＜総括表＞　（単位　千円）

科目＼部門	滋賀短期大学	滋賀短期大学附属高等学校	滋賀短期大学附属幼稚園
人件費支出	541,069	379,405	76,807
教育研究経費支出	143,864	87,819	21,618
管理経費支出	56,866	22,991	1,215
借入金等利息支出	1,975	4,839	0
借入金等返済支出	11,110	27,490	0
施設関係支出	3,940	0	457
設備関係支出	13,810	14,163	2,418
計	772,635	536,707	102,515

第３表

消　費　収　支　計　算　書

平成２１年４月　１日から
平成２２年３月３１日まで

＜総括表＞　　（単位　千円）

消　費　収　入　の　部			
科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
学生生徒等納付金	1,118,641	1,100,990	17,651
手数料	36,382	36,351	31
寄付金	3,723	5,086	△ 1,363
現物寄付金	337,424	354,245	△ 16,821
補助金	123,438	134,343	△ 10,905
国庫補助金	213,986	219,902	△ 5,916
地方公共団体補助金	20,361	23,976	△ 3,615
施設設備利用料	2,393	2,393	0
有価証券売却差額	5,550	5,747	△ 197
補助活動収入	35,109	35,276	△ 167
その他の雑収入	1,559,583	1,564,064	△ 4,481
帰属収入合計	△ 78,154	△ 64,155	△ 13,999
基本金組入額合計	1,481,429	1,499,910	△ 18,481
消　費　支　出　の　部			
科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
人件費	1,034,388	1,049,393	△ 15,005
教育研究経費	372,335	348,195	24,141
管理経費	99,530	88,444	11,086
借入金等利息	6,814	6,814	0
資産処分差額	23	372	△ 349
徴収不能引当金繰入額	1,000	648	352
〔　予　備　費　〕	（ 4,075 ） 225		225
消費支出の部合計	1,514,316	1,493,865	20,451
当年度消費収入超過額	△ 32,887	6,045	
前年度繰越消費支出超過額	2,044,952	2,044,952	
翌年度繰越消費支出超過額	2,077,839	2,038,908	

第４表

消 費 収 支 内 訳 表

平成２１年４月　１日から
平成２２年３月３１日まで

消　費　収　入　の　部

＜総括表＞　　（単位　千円）

科目＼部門	滋賀短期大学	滋賀短期大学附属高等学校	滋賀短期大学附属幼稚園
学生生徒等納付金	796,924	265,742	38,324
手数料	12,604	23,480	267
寄付金	3,218	1,868	0
補助金	133,441	177,294	43,510
国庫補助金	133,318	1,025	0
地方公共団体補助金	123	176,269	43,510
資産運用収入	9,750	5,794	563
資産売却差額	1,484	766	144
事業収入	809	0	4,938
雑収入	9,902	24,722	652
帰属収入合計	968,132	499,666	88,398
基本金組入額合計	23,388	33,090	2,656
消費収入の部合計	944,744	466,576	85,742

消　費　支　出　の　部

＜総括表＞　　（単位　千円）

科目＼部門	滋賀短期大学	滋賀短期大学附属高等学校	滋賀短期大学附属幼稚園
人件費	557,577	375,913	77,264
教育研究経費	193,615	127,460	26,993
管理経費	58,885	23,314	1,215
借入金等利息	1,975	4,839	0
資産処分差額	315	57	0
徴収不能引当金繰入額	0	648	0
消費支出の部合計	812,367	532,230	105,472

第５表

貸　借　対　照　表

平成２２年３月３１日

＜総括表＞　　（単位　千円）

資　産　の　部			
科　　目	本年度末	前年度末	増　減
固定資産	4,215,610	4,259,233	△ 43,623
有形固定資産	2,948,881	3,011,723	△ 62,842
その他の固定資産	1,266,729	1,247,510	19,219
流動資産	463,687	383,128	80,559
資産の部合計	4,679,298	4,642,361	36,936
負　債　の　部			
科　　目	本年度末	前年度末	増　減
固定負債	378,432	399,950	△ 21,518
流動負債	375,618	387,363	△ 11,745
負債の部合計	754,050	787,313	△ 33,263
基　本　金　の　部			
科　　目	本年度末	前年度末	増　減
第１号基本金	5,418,191	5,359,659	58,532
第２号基本金	58,831	58,831	0
第３号基本金	348,134	342,511	5,623
第４号基本金	139,000	139,000	0
基本金の部合計	5,964,155	5,900,000	64,155
消費収支差額の部			
科　　目	本年度末	前年度末	増　減
翌年度繰越消費支出超過額	2,038,908	2,044,952	△ 6,045
消費収支差額の部合計	△ 2,038,908	△ 2,044,952	6,045
科　　目	本年度末	前年度末	増　減
負債の部基本金の部および消費収支差額の部合計	4,679,298	4,642,361	36,936

第６表

財　　産　　目　　録

Ⅰ　資産総額	4,679,298 千円
内　基本財産	2,944,873 千円
運用財産	1,734,425 千円
Ⅱ　負債総額	754,050 千円
Ⅲ　正味財産	3,925,248 千円

区　　分	金	額
資 産 額		
1　基本財産		2,944,873 千円
土地	44,401 ㎡	330,033 千円
建物	25,759 ㎡	2,156,784 千円
図書	99,214 冊	260,827 千円
教具・校具・備品	17,952 点	143,521 千円
その他	162 点	53,708 千円
2　運用財産		1,734,425 千円
現金預金		396,045 千円
積立金		1,265,983 千円
その他		72,397 千円
資 産 総 額		4,679,298 千円
負 債 額		
1　固定負債		378,432 千円
長期借入金		206,610 千円
その他		171,822 千円
2　流動負債		375,618 千円
短期借入金		34,990 千円
その他		340,628 千円
負 債 総 額		754,050 千円
正味財産　（資産総額　－　負債総額）		3,925,248 千円

Ⅴ　監事監査報告書

平成２２年５月２４日

監　査　報　告　書

学校法人純美禮学園
　理事長　松村　文夫　殿

学校法人　純 美 禮 学 園

監　事　西村　隆

監　事　山根重雄

私たちは、私立学校法第 37 条第３項及び学校法人純美禮学園寄附行為第１４条の規定に基づき、学校法人純美禮学園の平成２１年度（平成２１年４月１日から平成２２年３月３１日まで）の学校法人の業務の状況及び財産の状況について監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

１　監査の方法の概要

理事会に出席し、理事、法人事務局等から業務の執行状況を聴取するとともに関係資料を閲覧し、業務及び財産の状況を監査しました。また、公認会計士原田九兵衛氏並びに山本智三氏の両人から監査状況の報告を受けるとともにそれらを参考として計算書類等に検討を加えました。

２　監査の結果

（１）学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められません。

（２）学校法人の財産に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められません。

（３）財産目録、貸借対照表、収支計算書及び事業報告書は、法令及び寄附行為に従い正しく示しているものと認めます。

以　上

＜参考資料＞

◆「学生・生徒・園児数」＜平成２２年５月１日現在＞

◇滋賀短期大学

学科＼年次	1	2	計
生　活　学　科	８２	８０	１６２
幼児教育保育学科	１４７	１７９	３２６
ﾋﾞｼﾞﾈｽｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	９４	１２６	２２０
計	３２３	３８５	７０８

◇滋賀短期大学附属高等学校

科＼学年	1	2	3	計
普　通　科	１８３	１３６	９１	４１０
生活創造科	－	３５	４１	７６
人間総合科	３５	－	－	３５
計	２１８	１７１	１３２	５２１

注：平成 22 年度から生活創造科は人間総合科に名称変更

◇滋賀短期大学附属幼稚園

	３歳児	４歳児	５歳児	計
園　児　数	６０	６９	６５	１９４